

平成24年度 上春別中だより〈第17号〉

みずなら



〈発行責任者〉
校長 田中 彰
(1月17日 発行)

指 標：『**刻苦勉勵**』(こっくべんれい)

〈 教 育 目 標 〉

知性を磨き 心豊かに逞しく

〈 校 訓 〉

自主 協調 実践

〈 めざす生徒像 〉

自ら感じ 考え 行動する生徒

学校のブログもご覧下さい <http://b-school.jp/blog/skamisyn/index.php>

3学期のスタート

新年あけましておめでとうございます。平成25年も生徒が元気で過ごせるように保護者の皆様の協力をもらいながら、教職員一同頑張ります。

さて、17日(木)今日から3学期が始まりました。日数としては短いですが、1年間の締めくくりとして、特に3年生にとっては、中学校生活の集大成としての受検が待っています。

1, 2年生にとっても学習面や部活動・委員会活動など様々な面での仕上げの時期であり、新年度に向けてのチェックの時期でもあります。



○冬季休業中のスキルアップウィンターについて

1月8日～11日まで4日間実施しました。釧路教育大学の学生ボランティアの協力もあり、充実した学習会にすることが出来ました。



生徒の4日間の感想を見ても、充実していて良かったという声が圧倒的で、苦手な所やわからないところがわかるようになったとか、何回も繰り返して取り組んで少しずつ身についてきたなど、自分にとってプラスになった事がたくさん書かれていました。

今後も週1回水曜日に予定しているスキルアップタイムでの放課後学習会を継続していきます。



○インフルエンザに注意を

まだ広く流行はしていませんが、1月10日～13日まで中体連スケートの全道大会に出場した生徒4名のうち3名がインフルエンザに罹患しました。全道大会に行く前に罹患していた可能性が高いので、これから罹患が拡大する事が予想されます。

手洗い・うがい・マスクの着用など気をつけると共に、各家庭でも**湿度の調整**や**睡眠時間・食事等**にも気をつけて下さい。何よりも体力や免疫の低下が一番発症する



もとになるのですから。また、**熱がでから5日間は熱が下がっても登校できません。出席停止になります**ので、担任等としっかり連絡をとって対応して下さい。

別海町立小・中学校適正配置計画改定説明会の開催

★2月8日(金) 13時30分より

★上春別地域センターにて

町内会を通じて各家庭にも周知されているとは存じますが、保護者の皆様の出席をお願いいたします。

新年早々考えさせられました

母が渡した携帯の使用契約書

1月4日にインターネット論壇サイト『ブロゴス』に掲載された記事「13歳の息子へ、新しいiPhoneと使用契約書です。愛を込めて。母より」が話題になっています。

米マサチューセッツ州に住む母親が、クリスマスの日に13歳の息子へiPhoneをプレゼントし、その際に“iPhoneの使用契約書”を渡すなど、息子とのやり取りをブログに投稿した。それを見たHana.bi氏が「あまりにも素晴らしい」と称賛し、和訳を同サイトで紹介したことで、注目を集めているものです。テレビ報道等でもとりあげられました。

その使用契約書には、「メリークリスマス」のメッセージとともに、18のルールが記されている。そのルールの和訳を**抜粋**したものを紹介します。

1. これは私の携帯です。私が払いました。あなたに貸しているものです。
2. パスワードはかならず私に報告すること。
4. 学校がある日は7:30pmに携帯を私に返却します。週末は9:00pmに返却します。携帯は次の朝の7:30amまで電源オフになります。
5. 携帯電話はあなたと一緒に学校には行けません。
6. 破損させた場合の修理費用は自己負担です。お手伝いしたり、お年玉でカバーしてください。
7. このテクノロジーを使って嘘をついたり、人を馬鹿にしたりしないこと。
8. 人に面と向かって言えないようなことをこの携帯を使ってSMSやメールでしないこと。
9. 友達の親の前で言えないようなことをSMSやメールでしないこと。自己規制してください。
10. ポルノ禁止。
11. 公共の場では消すなり、サイレントモードにすること。
17. あなたの周りの世界を良く見てください。知らない人と会話をもってみてください。グーグル検索なしで考えてみてください
18. あなたは失敗する。そのときはこの携帯をあなたから奪います。その失敗について私と話し合います。また一からスタートします。

「健康で豊かな人間性を持った、現代のテクノロジーをうまく活用していける大人に育ててもらうため」に設けたというこれらのルール、保護者のみなさんはどう思われますか。ネット上でも賛否両論で親の世代からは感動したという声が多いものの、批判的な声もあります。

私は、子どもが成長して大人になるまでは、親の干渉があっても当たり前だと思っています。その意味では、ここに書かれているような内容は当然のことであって、文章にするしなみに係わらず、親子の約束として確認し合うような内容だと思います。本校ではまだ生徒に携帯やスマホを与えている家庭が少ないようですが、今後親としていつかは考えなければならないことです。便利さのために危険性やデメリットへの対応を忘れてはいけませんから・・・



今年のNHKの大河ドラマでも「ならぬことはならぬ」と言っています。私も以前から「ダメなものはダメ」と言っていますが、大人が子どもに制限をつけることは、必要な事です。自由には責任が伴い、責任をとれないものについては、制限されるのが当たり前のことなのです。携帯電話だけにとどまらずに、このようなテーマで様々なルールを親子で話し合いをすることも、とっても大切な事なのではないかと考えています。